



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL http://housefoods-group.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 柴田 亮 (TEL) 03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	70,358	6.1	3,819	61.8	3,958	94.8	2,262	△18.3
29年3月期第1四半期	66,284	24.5	2,360	64.0	2,032	11.4	2,770	165.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,914百万円(784.0%) 29年3月期第1四半期 443百万円(△61.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22.02	—
29年3月期第1四半期	27.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	355,880	268,503	66.6	2,307.09
29年3月期	353,888	266,615	66.5	2,289.43

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 237,060百万円 29年3月期 235,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	142,800	4.3	5,500	2.8	6,000	11.6	2,900	△31.1	28.22
通期	292,800	3.2	13,500	9.6	14,500	3.9	7,700	△11.3	74.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	102,758,690株	29年3月期	102,758,690株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	5,729株	29年3月期	5,423株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	102,753,042株	29年3月期1Q	102,612,795株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 業績の状況	12
(2) グループ会社数	13
(3) 連結損益計算書の状況	13
(4) 連結貸借対照表の状況	15
(5) 設備投資の状況	16
(6) 減価償却費の状況	16
(7) 主要経営指標等	16
(8) 通期目標	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、国際経済の不確実性の高まりに留意を要するものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、全体では緩やかな回復基調にありました。食品業界におきましては、消費マインドは持ち直しの動きが見られるものの力強さに欠け、予断を許さない状況が続いております。

当期は、当社グループにとって第五次中期計画の最終年度にあたり、“「食で健康」クオリティ企業への変革”に向けて、国内既存事業の収益力強化と新規需要の創出、海外事業の成長加速に向けた施策を推進いたしました。

売上面につきましては、(株)ギャバンの新規連結効果に加え、香辛・調味加工食品事業の既存領域および海外食品事業が着実な成長を実現した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は703億58百万円、前年同期比6.1%の増収となりました。

利益面につきましては、増収効果やグループ各社がそれぞれ収益力強化に取り組んだことで、営業利益は38億19百万円、前年同期比61.8%の増益となりました。経常利益は39億58百万円、前年同期比94.8%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前連結会計年度に(株)ギャバンの連結子会社化に伴う特別利益を計上した影響から、22億62百万円、前年同期比18.3%の減益となりました。

セグメント別の業績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
香辛・調味加工食品事業	32,567	114.2	2,076	148.8
健康食品事業	8,575	96.1	642	113.3
海外食品事業	5,422	113.5	818	134.7
外食事業	12,921	99.5	17	—
その他食品関連事業	14,622	99.2	473	235.6
小計	74,106	105.9	4,025	151.4
調整(消去)	△3,747	—	△206	—
合計	70,358	106.1	3,819	161.8

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、「食の外部化」などの事業を取り巻く環境変化に対し、「より健康、より上質、より簡便、より適量」にフォーカスした製品・サービスの提供を通じて、「既存領域の強化」および「新規領域の展開」に取り組んでおります。

ハウス食品(株)は、主力のルウカレーが底堅く推移する中、複数個パックの「プロクオリティ」が牽引するレトルトカレー、ねりスパイスが寄与したスパイス製品の他、スナック製品、業務用製品も好調な推移となりました。

以上に加え、(株)ギャバンの新規連結効果が寄与し、香辛・調味加工食品事業の売上高は325億67百万円、前年同期比14.2%の増収、営業利益は20億76百万円、前年同期比48.8%の増益となりました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは、主力製品の収益改善と成長に向けた仕込みに取り組んでおります。

「ウコンの力」はお客様の飲酒シーンが多様化する中で苦戦いたしました。そのような中、6月にはシリーズ最上位品となる「ウコンの力 レバープラス プラチナ」を発売し、ヘビーユーザー層へのさらなる接点強化に努めております。

ビタミン事業では、「C1000」シリーズが堅調に推移した他、全13種類のビタミンを含有する「1日分のビタミン」がお客様のご支持を頂き、ビタミンの提供領域拡大が進みました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は85億75百万円、前年同期比3.9%の減収、営業利益は6億42百万円、前年同期比13.3%の増益となりました。

<海外食品事業>

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・東南アジア）における事業拡大のスピードアップと収益力強化に取り組んでおります。

米国では、豆腐および豆腐関連製品がアジア系、米系チャネルともに着実に浸透し、事業規模を拡大しております。

中国では、日本式カレーのさらなる浸透に向けて沿岸部を中心とした取組の深化と接点拡大を進め、家庭用、業務用とも順調に収益拡大いたしました。

東南アジアでは、タイ機能性飲料事業が前期に引き続き伸長しております。

以上の結果、海外食品事業の売上高は54億22百万円、前年同期比13.5%の増収、営業利益は8億18百万円、前年同期比34.7%の増益となりました。

<外食事業>

当事業セグメントは、国内外でのカレーレストランの運営を通じて、カレーの世界をさらに広げるべく取り組んでおります。

㈱壺番屋は、国内では全店ベースの売上高は前年同期比2.8%増、既存店ベースの売上高は同1.3%増と堅調に推移いたしました。海外では、これまで当社が㈱壺番屋のフランチャイジーとして展開しておりました中国、台湾におけるレストラン事業を㈱壺番屋主導の体制へ集約し、不採算店の整理、立て直しを進めております。

以上の結果、外食事業の売上高は129億21百万円、前年同期比0.5%の減収、営業利益は17百万円（前年同期は営業損失1億12百万円）となりました。

<その他食品関連事業>

当事業セグメントは、各社の機能強化とグループ間シナジーの追求によるグループ総合力の向上に努めております。

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、厳しい物流環境の中、食品企業6社での共同取組「F-LINE」の全国展開を見据え、事業の最適化、再構築に取り組んでおります。

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む㈱デリカシェフは、総菜事業の売上拡大と収益改善に継続して取り組んでおります。

㈱ヴォークス・トレーディングは、グループ内での連携強化に取り組み、調達・販売力の強化に注力しております。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は146億22百万円、前年同期比0.8%の減収、営業利益は4億73百万円、前年同期比135.6%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,558億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億93百万円の増加となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金や有価証券が減少した一方で、商品及び製品および原材料及び貯蔵品が増加したことなどから、10億11百万円増加の1,366億23百万円となりました。固定資産は、のれん、機械装置及び運搬具および建物及び構築物が減少した一方で、投資有価証券が増加したことなどから、9億82百万円増加の2,192億57百万円となりました。

負債は873億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億5百万円の増加となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金や未払法人税等が減少したことなどから、6億87百万円減少の508億5百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したことなどから、7億92百万円増加の365億73百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少した一方、保有する投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて18億88百万円増加の2,685億3百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は66.6%（前連結会計年度末は66.5%）、1株当たり純資産は2,307円09銭（前連結会計年度末は2,289円43銭）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,583	57,572
受取手形及び売掛金	45,370	43,989
有価証券	7,436	6,805
商品及び製品	10,020	11,248
仕掛品	2,008	1,775
原材料及び貯蔵品	4,563	4,912
繰延税金資産	2,682	2,712
その他	6,185	7,818
貸倒引当金	△234	△208
流動資産合計	135,612	136,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,491	28,919
機械装置及び運搬具(純額)	12,723	12,114
土地	30,394	30,365
リース資産(純額)	3,942	3,901
建設仮勘定	585	1,432
その他(純額)	2,028	1,926
有形固定資産合計	79,162	78,658
無形固定資産		
のれん	12,964	12,069
商標権	25,933	25,771
ソフトウェア	2,142	1,997
契約関連無形資産	27,787	27,545
ソフトウェア仮勘定	29	55
その他	1,094	1,060
無形固定資産合計	69,949	68,497
投資その他の資産		
投資有価証券	61,870	64,736
長期貸付金	356	356
繰延税金資産	1,223	1,168
長期預金	500	500
退職給付に係る資産	358	350
破産更生債権等	683	682
その他	5,049	5,184
貸倒引当金	△874	△874
投資その他の資産合計	69,164	72,102
固定資産合計	218,275	219,257
資産合計	353,888	355,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,584	20,609
電子記録債務	1,294	1,193
短期借入金	5,711	6,155
リース債務	655	659
未払金	14,872	12,496
未払法人税等	2,680	1,596
賞与引当金	317	192
役員賞与引当金	75	27
株主優待引当金	87	64
その他の引当金	124	103
資産除去債務	3	1
その他	6,090	7,710
流動負債合計	51,492	50,805
固定負債		
長期借入金	550	475
リース債務	3,390	3,322
長期末払金	298	290
繰延税金負債	24,296	25,019
債務保証損失引当金	3	3
退職給付に係る負債	2,720	2,592
資産除去債務	719	720
その他	3,803	4,154
固定負債合計	35,781	36,573
負債合計	87,273	87,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,107	23,107
利益剰余金	182,501	183,017
自己株式	△12	△13
株主資本合計	215,545	216,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,297	20,175
繰延ヘッジ損益	188	112
為替換算調整勘定	1,566	951
退職給付に係る調整累計額	△350	△237
その他の包括利益累計額合計	19,702	21,001
非支配株主持分	31,369	31,442
純資産合計	266,615	268,503
負債純資産合計	353,888	355,880

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	66,284	70,358
売上原価	37,016	39,089
売上総利益	29,268	31,269
販売費及び一般管理費	26,908	27,451
営業利益	2,360	3,819
営業外収益		
受取利息	100	92
受取配当金	64	61
持分法による投資利益	1	5
受取家賃	179	196
その他	53	56
営業外収益合計	397	410
営業外費用		
支払利息	23	23
賃貸費用	153	155
為替差損	451	66
その他	98	28
営業外費用合計	725	271
経常利益	2,032	3,958
特別利益		
固定資産売却益	1	4
投資有価証券売却益	6	—
店舗売却益	63	34
段階取得に係る差益	448	—
負ののれん発生益	1,018	—
その他	59	—
特別利益合計	1,596	38
特別損失		
固定資産除却損	22	8
減損損失	163	10
その他	1	13
特別損失合計	186	31
税金等調整前四半期純利益	3,441	3,965
法人税等	△14	1,337
四半期純利益	3,455	2,628
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,770	2,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	685	366

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,886	1,874
繰延ヘッジ損益	△109	△76
為替換算調整勘定	△1,093	△633
退職給付に係る調整額	87	115
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	6
その他の包括利益合計	△3,012	1,286
四半期包括利益	443	3,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93	3,562
非支配株主に係る四半期包括利益	536	353

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」および「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	27,507	8,870	4,703	12,980	12,210	66,270	—	66,270	14	66,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,016	57	74	2	2,534	3,683	—	3,683	△3,683	—
計	28,523	8,926	4,777	12,982	14,744	69,953	—	69,953	△3,669	66,284
セグメント利益又は 損失(△)	1,395	567	607	△112	201	2,658	—	2,658	△298	2,360

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△298百万円、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、(株)ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「香辛・調味加工食品事業」のセグメント資産が10,194百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、163百万円計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間において、(株)ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、「香辛・調味加工食品事業」のセグメントにおいて、負ののれん発生益を1,018百万円計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	31,604	8,497	5,376	12,919	11,950	70,345	—	70,345	13	70,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	962	78	46	2	2,672	3,761	—	3,761	△3,761	—
計	32,567	8,575	5,422	12,921	14,622	74,106	—	74,106	△3,747	70,358
セグメント利益又は 損失(△)	2,076	642	818	17	473	4,025	—	4,025	△206	3,819

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△206百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、10百万円計上しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

前連結会計年度より、費目別に区分掲記しておりました「販売費及び一般管理費」について、連結損益及び包括利益計算書の一覧性および明瞭性を高めるため、「販売費及び一般管理費」として一括掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	17.3期第1四半期		18.3期第1四半期		17.3期 通期		18.3期 通期目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	66,284	124.5%	70,358	106.1%	283,812	117.3%	292,800	103.2%
営業利益	2,360	164.0%	3,819	161.8%	12,312	114.3%	13,500	109.6%
経常利益	2,032	111.4%	3,958	194.8%	13,951	114.8%	14,500	103.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,770	265.8%	2,262	81.7%	8,683	38.4%	7,700	88.7%
包括利益	443	38.5%	3,914	884.0%	11,245	87.9%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額		構成比		金額		構成比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	28,523	43.0%	32,567	46.2%	132,059	46.5%	137,400	46.9%
健康食品事業	8,926	13.5%	8,575	12.2%	33,281	11.7%	34,600	11.8%
海外食品事業	4,777	7.2%	5,422	7.7%	20,111	7.1%	22,200	7.6%
外食事業	12,982	19.6%	12,921	18.4%	51,375	18.1%	52,000	17.8%
その他食品関連事業	14,744	22.2%	14,622	20.8%	62,123	21.9%	61,700	21.1%
調整額	△ 3,669	△ 5.5%	△ 3,747	△ 5.3%	△ 15,138	△ 5.3%	△ 15,100	△ 5.2%

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額		構成比		金額		構成比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	1,395	59.1%	2,076	54.4%	9,885	80.3%	10,300	76.4%
健康食品事業	567	24.0%	642	16.8%	1,334	10.8%	1,500	11.1%
海外食品事業	607	25.7%	818	21.4%	1,681	13.7%	2,000	14.8%
外食事業	△ 112	△ 4.7%	17	0.4%	△ 424	△ 3.4%	△ 200	△ 1.5%
その他食品関連事業	201	8.5%	473	12.4%	719	5.8%	1,100	8.1%
調整額	△ 298	△ 12.6%	△ 206	△ 5.4%	△ 883	△ 7.2%	△ 1,200	△ 8.9%

(2) グループ会社数

	17.3期第1四半期	18.3期第1四半期	17.3期
連結子会社数	36社	37社	36社
国内	14社	14社	14社
海外	22社	23社	22社
持分法適用関連会社	3社	4社	4社
国内	1社	2社	2社
海外	2社	2社	2社

《18.3期第1四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
ハウス食品(株)	30,496	106.3%	1,912	134.4%	1,469	145.5%
ハウスウェルネスフーズ(株)	8,575	96.0%	645	113.5%	526	76.9%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	3,239	103.8%	385	107.0%	229	107.3%
(株)吉番屋(連結)	12,383	100.4%	1,276	109.9%	1,064	124.9%

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2017年1月～3月 (株)吉番屋：2017年3月～5月

※(株)吉番屋は17年3月に海外レストラン事業を再編しており、前期比は組替後の数値と比較しております。

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	17.3期第1四半期		18.3期第1四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	66,284	100.0%	70,358	100.0%	4,075	6.1%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	28,523	43.0%	32,567	46.2%	4,043	14.2%
健康食品事業	8,926	13.5%	8,575	12.2%	△ 351	△ 3.9%
海外食品事業	4,777	7.2%	5,422	7.7%	645	13.5%
外食事業	12,982	19.6%	12,921	18.4%	△ 62	△ 0.5%
その他食品関連事業	14,744	22.2%	14,622	20.8%	△ 122	△ 0.8%
調整額	△ 3,669	△ 5.5%	△ 3,747	△ 5.3%	△ 78	—
売上原価	37,016	55.8%	39,089	55.6%	2,074	5.6%
販売費・一般管理費	26,908	40.6%	27,451	39.0%	543	2.0%
広告宣伝費	2,332	3.5%	2,415	3.4%	82	3.5%
運送費及び保管費	2,245	3.4%	2,480	3.5%	235	10.5%
販売手数料	595	0.9%	610	0.9%	14	2.4%
販売促進費	6,992	10.5%	7,268	10.3%	277	4.0%
人件費	7,132	10.8%	7,300	10.4%	168	2.4%
研究開発費	949	1.4%	935	1.3%	△ 13	△ 1.4%
のれん償却額	895	1.3%	895	1.3%	0	0.0%
営業利益	2,360	3.6%	3,819	5.4%	1,459	61.8%
営業外収益	397	0.6%	410	0.6%	13	3.3%
営業外費用	725	1.1%	271	0.4%	△ 454	△ 62.6%
経常利益	2,032	3.1%	3,958	5.6%	1,926	94.8%
特別利益	1,596	2.4%	38	0.1%	△ 1,558	△ 97.6%
特別損失	186	0.3%	31	0.0%	△ 156	△ 83.5%
税金等調整前四半期純利益	3,441	5.2%	3,965	5.6%	524	15.2%
法人税等	△ 14	0.0%	1,337	1.9%	1,350	—
四半期純利益	3,455	5.2%	2,628	3.7%	△ 827	△ 23.9%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,770	4.2%	2,262	3.2%	△ 508	△ 18.3%
非支配株主に帰属する四半期純利益	685	1.0%	366	0.5%	△ 319	△ 46.6%
四半期包括利益	443	0.7%	3,914	5.6%	3,472	784.0%

② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の増加	2,001
マーケティングコスト（広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計）の増加	△ 374
運送費及び保管費の増加	△ 235
給料手当及び賞与の増加	△ 131
その他費用の減少	197

③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	17.3期第1四半期	18.3期第1四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	100	92	△ 8
受取配当金	64	61	△ 3
持分法による投資利益	1	5	4
受取家賃	179	196	17
その他	53	56	3
営業外収益計	397	410	13
支払利息	23	23	△ 0
為替差損	451	66	△ 385
賃貸費用	153	155	1
その他	98	28	△ 70
営業外費用計	725	271	△ 454

④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	17.3期第1四半期	18.3期第1四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	1	4	3
投資有価証券売却益	6	—	△ 6
負ののれん発生益	1,018	—	△ 1,018
店舗売却益	63	34	△ 30
段階取得に係る差益	448	—	△ 448
その他	59	—	△ 59
特別利益計	1,596	38	△ 1,558
固定資産除却損	22	8	△ 14
減損損失	163	10	△ 153
その他	1	13	12
特別損失計	186	31	△ 156

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	17.3期末		18.3期 第1四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	135,612	38.3%	136,623	38.4%	1,011	たな卸資産の増加 1,344 受取手形及び売掛金の減少 △ 1,380 有価証券の減少 △ 631 その他の流動資産の増加 1,633
固定資産	218,275	61.7%	219,257	61.6%	982	投資有価証券の増加 2,866 のれんの減少 △ 895 機械装置及び運搬具の減少 △ 608 建物及び構築物の減少 △ 572
資産合計	353,888	100.0%	355,880	100.0%	1,993	
流動負債	51,492	14.6%	50,805	14.3%	△ 687	未払金の減少 △ 2,376 支払手形及び買掛金の増加 1,026 短期借入金金の増加 444
固定負債	35,781	10.1%	36,573	10.3%	792	繰延税金負債の増加 722
負債合計	87,273	24.7%	87,378	24.6%	105	
株主資本合計	215,545	60.8%	216,059	60.7%	515	利益剰余金の増加 516
その他の包括利益 累計額合計	19,702	5.6%	21,001	5.9%	1,299	その他有価証券評価差額金の増加 1,878 為替換算調整勘定の減少 △ 615
非支配株主持分	31,369	8.9%	31,442	8.8%	74	
純資産合計	266,615	75.3%	268,503	75.4%	1,888	
負債純資産合計	353,888	100.0%	355,880	100.0%	1,993	

(5) 設備投資の状況

《連結》 (単位：百万円)

	17.3期 第1四半期	18.3期 第1四半期
設備投資	1,269	1,569
リース	183	197
合計	1,452	1,767

(6) 減価償却費の状況

《連結》 (単位：百万円)

	17.3期 第1四半期	18.3期 第1四半期
減価償却費	2,261	2,203
支払リース料	83	81
合計	2,343	2,283

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	18.3期第1四半期	17.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	22.02 円	84.53 円
一株当たり純資産	2,307.09 円	2,289.43 円
自己資本当期純利益率	—	3.7 %
総資産経常利益率	—	4.0 %
売上高経常利益率	5.6 %	4.9 %
総資本回転率	—	0.81 回
流動比率	268.9 %	263.4 %
固定比率	92.5 %	92.8 %
負債比率	36.9 %	37.1 %
自己資本比率	66.6 %	66.5 %
従業員数	6,421 人	6,248 人

◎休職者・パートを含みません。

(8) 通期目標

《連結》

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期 目標	対前期増減
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	132,059	137,400	5,341
健康食品事業	33,281	34,600	1,319
海外食品事業	20,111	22,200	2,089
外食事業	51,375	52,000	625
その他食品関連事業	62,123	61,700	△ 423
調整額	△ 15,138	△ 15,100	38
売上高	283,812	292,800	8,988
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	9,885	10,300	415
健康食品事業	1,334	1,500	166
海外食品事業	1,681	2,000	319
外食事業	△ 424	△ 200	224
その他食品関連事業	719	1,100	381
調整額	△ 883	△ 1,200	△ 317
営業利益	12,312	13,500	1,188
経常利益	13,951	14,500	549
親会社株主に帰属する当期純利益	8,683	7,700	△ 983
包括利益	11,245	-	-

《連結設備投資》

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期 目標
設 備 投 資	7,708	11,700
リ ー ス	470	300
合 計	8,178	12,000

《連結減価償却費》

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期 目標
減 価 償 却 費	9,345	9,200
支 払 り 一 ス 料	346	500
合 計	9,691	9,700

《配当金》

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期 目標
配 当 金 (1 株 当 た り)	32.00 円	34.00 円
配 当 性 向	37.9 %	45.4 %
利 益 配 分 の 基 本 方 針 に 基 づ く 配 当 性 向	30.4 %	31.0 %

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上